

沖縄の医療には、あなたの力が必要です。

沖縄県病院事業局

看護師募集

OKINAWA
Prefectural
Hospital
Nurse

I

働くあなたへの メッセージ

沖縄県病院事業局長

本竹 秀光



～看護のプロを目指すあなたへ～

「患者や患者家族がわれわれ医療人に求めるものは？」の問いにあなたはどうか答えますか？ 質の高い医療、安全な医療、寄り添う医療などなど考えられますが、どれも大切です。沖縄県立病院は、これらのリテラシーを身につけた看護のプロを目指すあなたを支援することができます。

沖縄県立病院は5つの総合病院（北部病院、中部病院、南部医療センター・こども医療センター、宮古病院、八重山病院）と1つの精神病院、16の離島診療所からなります。県立病院は、戦争で荒廃した沖縄県の戦後医療を支え、現在も沖縄県の医療の中心です。

県立北部病院は、自然豊かな名護市に位置し、急性期から地域包括ケアまで特色ある医療を提供し、他職種との交流、地域との交流で人間力を高めることができます。

県立中部病院は、沖縄の戦後医療を牽引してきたといっても過言ではなく、医師の育成、看護師の育成、コメディカルの育成は現在も連続と受け継がれています。

県立南部医療センター・こども医療センターは、沖縄県のこども医療の中心であり、出生からこどもの特殊医療まで、幅広くこどもの看護技術を高めるには最適な環境を提供します。

県立宮古病院、県立八重山病院は、離島唯一の総合病院で急性期から精神科まで幅広くカバーし

ています。新築間もない病院で急性期医療を行うハード面は本島の病院に引けをとりませんが、医療人材確保では依然不安定です。しかし、他職種との交流を通じて情報交換が行いやすく、より良い働く環境を醸成しやすく、少ない人数で安心・安全な医療提供に頑張っています。また、宮古、八重山は芸能文化、ソウルフードなどが豊かで、地域交流を行う中で人間を磨くには最適な地でもあります。

県立精和病院は、戦後の精神科医療を担ってききましたが、時代の要請を受け数年内に南部医療センター・こども医療センターへの移転統合が決まっています。これにより身体合併症の治療がスムーズに行えるようになります。

離島診療所は、医師、看護師、事務職員がone teamとして派遣され離島の医療を守っています。

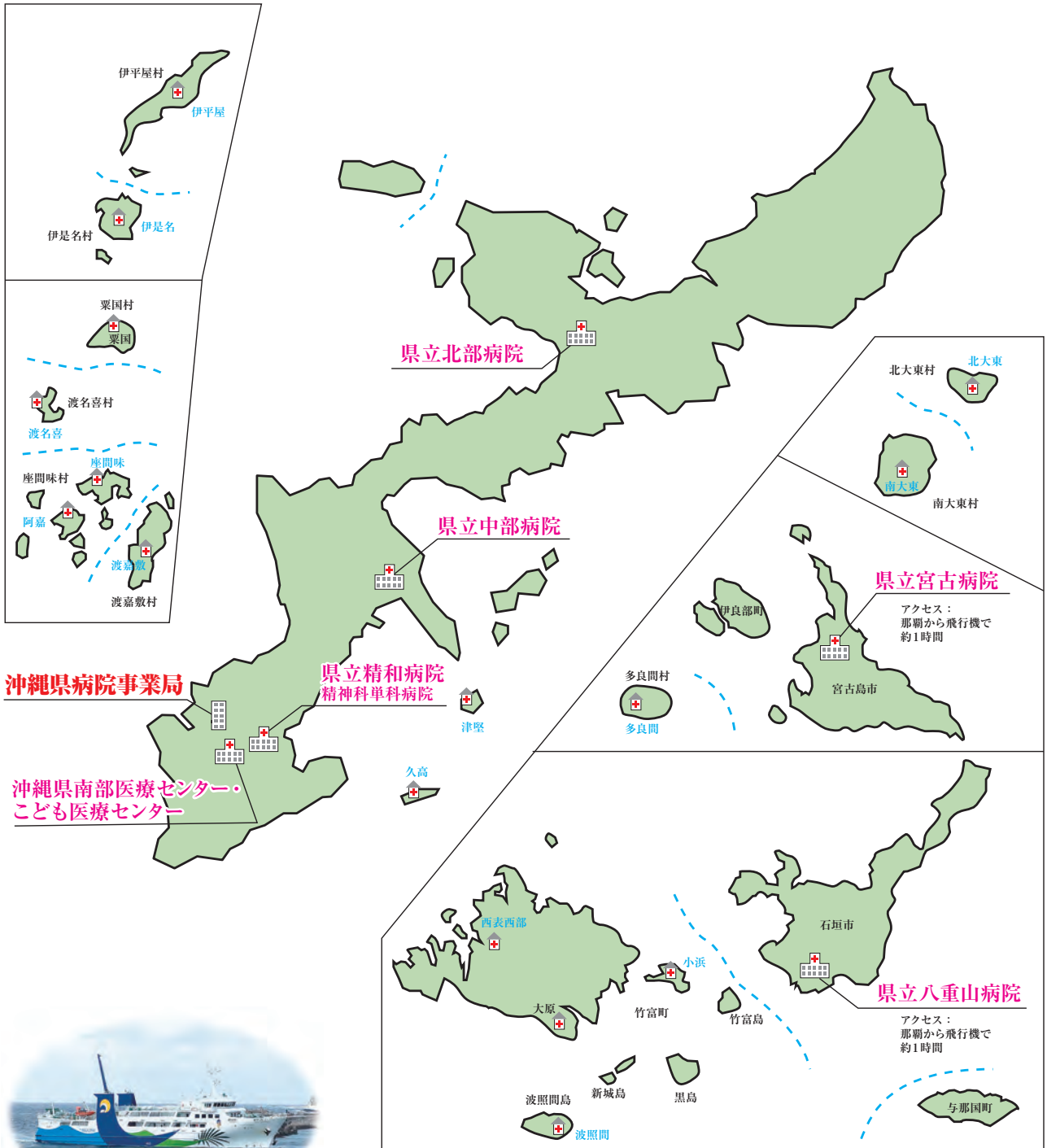
県立病院はより良く働く環境作り、看護の高みを目指す看護師への様々な研修支援を拡充していきます。また、コロナ禍の中で県立病院の果たした役割は大きく、社会が県立病院の存在意義を再認識するきっかけとなりました。県立病院は地域医療の最後の砦としてこれまでも、これからも安全・安心な医療を県民に提供していきます。

皆さん、医療人としての誇りをともに共有しませんか。

沖縄県立病院・附属診療所位置図

凡例

 県立病院
 附属診療所



II

沖縄の医療のための県立病院の機能と役割

本県の医療事情は、地理的条件や歴史的背景により他都道府県に比較し、かなり立ち後れの状況にあったこと、離島県であるがゆえに他県と異なる医療環境にあること等から、5つの保健医療圏ごとに県立病院が整備され、県立主導の医療提供体制が構築されています。本県の県立病院は、本島北部、中部、南部（那覇を含む）及び宮古、八重山の各地域に一般病院5及び精神科病院1を設置するとともに、16の県立附属診療所を運営し、地域の中核病院として、次のような役割を果たし、県民医療の充実に努めています。

1

救急医療

県立病院における救急医療は、一次、二次、三次救急医療を主体としています。特に、県立中部病院と県立南部医療センター・こども医療センターにおいては、高度な医療技術を提供する三次救急医療体制である救命救急センターを設置し、全県域を対象として365日24時間の救急診療体制を整えています。

また、北部地域や離島等からの急患ヘリ搬送の受け入れも積極的に行っております。多様な患者への対応力を高めるため、救急医、救急看護認定看護師、リンクナース等を中心とした勉強会等が行われております。



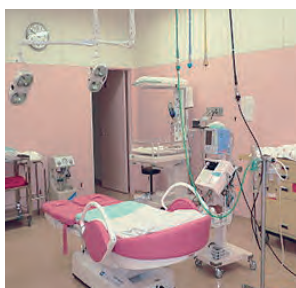
2

高度・特殊医療及び法令に基づく医療等

地域の中核病院として、周産期医療・がん医療等の高度・特殊医療、重症精神医療を担っています。また、結核・感染症及び災害医療等の法令等に位置づけされた医療、小児精神科医療等の先導的医療を担っています。

周産期医療

総合周産期母子医療センターにMFICUを有し、全県から紹介されるハイリスク妊婦に対し小児科医等と連携した専門的なケアを提供しています。



小児医療

県立南部医療センター・こども医療センターには、県内唯一の小児のPICUがあり、他職種と連携したチーム医療を提供しています。



災害医療

災害拠点病院として他施設と連携しながら災害訓練を実施しています。また、DMAT、DPATが各地の災害現場へ派遣されています。



がん医療

さまざまな分野の認定看護師（緩和ケアがん性疼痛、がん放射線療法等）が在籍し活動しています。



3

離島・へき地医療

- 離島・へき地における医療を確保するため、16の附属診療所を運営しています。また北部、宮古、八重山病院においては、離島へき地の中核病院として巡回診療も行っています。
- 診療所に勤務する看護師は、代替看護師が派遣されるしくみにより、安心して島を離れることができます。
- 島の生活に触れながら、地域に密着した看護を実践することができます。



4

医師等の養成研修

医師の卒後臨床研修を含め、医師の養成に取り組んでいます。また、医学生、検査技師、消防等の実習や研修の受け入れ、人材を外国に派遣する等国際的にも貢献しています。



5

看護学生実習受け入れ(実習生受け入れ)

看護師養成のため県内看護大学・専門学校の看護学生の実習を受け入れ、看護の人材育成への役割も担っています。

沖縄県立大学の島嶼看護学の実習先として宮古病院、八重山病院、離島診療所でも学生を受け入れています。



Ⅲ

働く大舞台、沖縄県立病院の紹介

沖縄県立北部病院

緑豊かで青く澄んだ名護湾を見渡せるやんばるで共に働いてみませんか。



〒905-8512 沖縄県名護市大中2-12-3
☎ 0980-52-2719
FAX：0980-54-2298
病床数：327床 看護単位：15 看護師数：279
附属診療所：伊是名診療所、伊平屋診療所



看護部理念

私たちは、患者を中心としたより良い看護サービスを提供します。

看護部目標

- 1 患者・家族が適切な時期に安心してもとの生活の場へ戻れるよう支援を強化する
- 2 看護の専門性を発揮するために他職種とのタスクシフト/シェアを推進する
- 3 患者の状態に応じた適切な看護提供をするための7対1看護体制の維持



沖縄県立中部病院

患者さまが病を持ちながらも住み慣れた場所で自分らしい生活を送ることができるよう在宅療養支援にも力を入れています。



〒904-2293 沖縄県うるま市字宮里281
☎ 098-973-4111
FAX：098-973-2703
病床数：559床 看護単位：20 看護師数：584
附属診療所：津堅診療所



看護部理念

私たちは、沖縄県立中部病院の理念と使命を自覚し、医療チームにおける看護の役割を遂行します。

看護部目標

- 1 在宅療養支援の充実を図り、質の高い看護を提供する
- 2 患者誤認を防ぎ、安全な療養環境を提供する
- 3 業務改善を推進し、働きやすい職場をつくる



沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

こどもからおとなまで「大切な命を守り、県民に貢献する」病院です。



〒901-1193 沖縄県南風原町字新川118-1
☎ 098-888-0123
FAX：098-888-6400
病床数：444床 看護単位：23 看護師数：546
附属診療所：久高診療所、座間味診療所、
阿嘉診療所、渡嘉敷診療所、渡名喜診療所、
粟国診療所、北大東診療所、南大東診療所



看護部理念

私たちは、人々の生命・人格・人権を尊重し、自らのキャリアビジョンを描き、看護倫理に基づいた質の高い看護を提供します。

看護部目標

- 1 臨床実践能力を発揮し、組織に貢献できる自律した専門性の高い看護師の育成
- 2 働き続けられる職場環境づくり、経営的視点の強化による病院経営への参加
- 3 個々の看護職員が自分の学習課題を明確にし、キャリア開発をすることを自己決定できる
- 4 外来部門の強化・地域との連携を図り、地域包括ケアシステム構築の中心的な役割を果たす



沖縄県立宮古病院

療あり

地域とところかよわせ、共に歩む私たちは、地域の笑顔(SMILE)を大事にします。



〒906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里427-1

☎ 0980-72-3151

FAX: 0980-74-3105

病床数: 277床 看護単位: 13 看護師数: 213

附属診療所: 多良間診療所



看護部理念

地域に根ざした患者中心の丁寧な看護を提供します。

看護部目標

- 1 組織・地域に貢献できる自律した看護師の育成
- 2 チームナースング受け持ち制を機能させ、チーム医療を推進する
- 3 やりがいを持って働き続けられる健康で安全な職場づくり
- 4 退院支援を強化し病院経営へ貢献



沖縄県立八重山病院

療あり

青い空と海に囲まれた環境です。県外出身者も多く、全国に知り合いができるチャンスです。



〒907-0002 沖縄県石垣市字真米里584-1

☎ 0980-87-5557

FAX: 0980-87-5835

病床数: 302床 看護単位: 10 看護師数: 208

附属診療所: 小浜診療所、西表西部診療所、
大原診療所、波照間診療所



看護部理念

私たちは患者様本位の良質で安全な看護を提供します。

看護部目標

- 1 組織の安全文化の醸成で安心・安全な看護を提供する
- 2 看護の専門性を発揮したチーム医療の充実
- 3 働きやすく、活気ある職場づくり



沖縄県立精和病院

病院から地域へその人らしく生活できるよう支援し、患者さんに寄り添う看護を提供しています。



〒901-1105 沖縄県南風原町字新川260

☎ 098-889-1390

FAX: 098-889-8385

病床数: 327床 看護単位: 15 看護師数: 279



看護部理念

私たちは、人と人とのつながりを大切にし、専門的知識に基づいた質の高い看護を提供します。

看護部目標

- 1 患者の人権を尊重し、安全で質の高い看護を提供する
- 2 キャリア支援を強化し院内及び地域に貢献できる人材を育成する
- 3 チーム医療を推進し病院経営に貢献する



県立病院の看護部理念

県立病院の使命と役割を自覚し、安全で質の高い看護を提供する。

県立病院の看護部方針

- ◎人々の生活の質向上をめざし、生命・人格・権利を尊重した看護を提供する。
- ◎看護実践の質の保証と向上のため、看護職者の計画的な教育を実施する。
- ◎チーム医療における看護者の役割を自覚し、他職種と協働する。
- ◎県立病院の組織の一員として病院経営に参画する。
- ◎看護職者が働きやすい環境づくりにつとめる。

県立病院の教育理念

県立病院の使命と役割に基づき県民のニーズに対応できる専門職業人としての看護職を育成する。

県立病院の教育方針

- 1 専門的知識に基づく判断を行い、個別的な看護の実践ができる人材を育成する。
- 2 自己学習を高め、自ら成長できる看護職者を育成する。
- 3 倫理的行動がとれる看護職者を育成する。

県立病院の育てたい看護師

- ◎県立病院の使命と役割に基づき、県民のニーズに対応できる看護職者
 - 1 状況に応じた適切な看護実践能力を発揮できる看護師
 - 2 地域の中核病院として院内外の他職種と連携し、組織や地域に貢献できる看護師
 - 3 専門職として自己啓発に務め、さらに、看護実践を科学的に追求できる看護師



※病院見学を実施しております。ご希望の方は病院へ直接お問い合わせください。

■ 県立病院における看護職員教育基準 ※各段階に目標を設定し、その目標が達成できるように教育プログラムに沿って支援しています。

新人看護師(1年間)

病院の組織を理解し、専門職業人としての自覚を持ち、日々の業務を通して看護実践力を身につける。

目標

1. 病院の組織及び理念を理解する。
2. 看護部の理念・目標を理解する。
3. 日常生活援助の基本的技術・態度を身につけ、ベッドサイドケアが安全にできる。
4. 受け持ち患者のケアを通して看護の知識・技術を深めることができる。
5. チームメンバーとしての役割を果たすことができる。
6. 専門職業人としての自覚がもてる。

卒後2年目の看護師

専門職業人としての感性や看護の視点を養い、患者のニーズに即した、看護が実践できる能力を身につける。

目標

1. 看護方式を理解しチームメンバーとしての役割を果たせる。
2. 実践した看護を評価し、個々の患者に適した看護が展開できる。
3. 専門的知識、技術を深め救急時の患者の対応ができる。
4. 後輩への指導助言ができる。
5. 事例をまとめ、発表することができる。

卒後3年目の看護師

専門職業人として問題解決能力を高め、主体的に看護が実践できる能力を身につける。

目標

1. 看護理論を活用し、自己の看護観を明確にする。
2. 問題意識を持って業務を遂行し、業務改善ができる。
3. 他者と協働し、看護場の問題解決ができる。
4. 後輩への指導助言ができる。
5. 看護研究メンバーとして主体的に参加する。

卒後4年目以上の看護師

中堅看護職としての役割を認識し、リーダーとしての業務が遂行できる能力を身につける。

目標

1. 看護師長や副看護師長を補佐し、よりよい職場環境づくりに参加する。
2. 看護業務の遂行にあたり、専門性を高め、リーダーシップを発揮し、後輩や学生指導ができる。
3. 他職種連携や社会資源を活用し、業務を円滑かつ効果的に遂行することができる。
4. 看護の質の向上や自己啓発のために自ら課題を持ち、取り組むことができる。
5. リーダーとしての経験を基に離島診療所の代替看護師ができる。

プリセプター

プリセプターシップについて学び、プリセプターの役割を遂行できる能力を身につける。

目標

1. プリセプターシップについて理解することができる。
2. プリセプターとして後輩へ指導助言ができる。
3. プリセプターの役割をとおして、看護観が深まる。

卒後10年目以上

専門職業人として全人的な感性、柔軟性を身につける。

目標

1. 自己の看護経験を語るができる
2. 自己のキャリア計画を明確にできる。
3. よき看護の担い手として、若い看護師のモデルとなる。

副看護師長

看護管理の基本的知識・技術を習得し、看護師長の補佐として、業務遂行できる能力を身につける。

目標

1. 看護管理の基本的知識を習得し、リーダーシップが発揮できる。
2. 看護管理の実務を習得する。
3. スタッフの能力を把握し、適切な指導ができる。

看護師長

中間管理者としてあらゆる場面で教育援助ができ、質の高い看護サービスを提供するための管理能力を身につける。

目標

1. 管理者としてのリーダーシップが発揮できる。
2. 看護職員の資質向上と能力開発のため教育指導ができる。
3. 他部門との調整能力を高め、マネジメントができる。
4. 中間管理者として病院経営に参画する。

VI

卒後1年目を支える教育システム

プリセプターシップ制度を導入



口腔ケア
研修



血糖測定・
インスリン
注射研修

4月

- ・新人看護職員
オリエンテー
ション
- ・感染管理
- ・医療安全管理
- ・電子カルテ操作
- ・基礎看護技術
- ・看護記録・BLS

5月

- ・基礎看護技術
の基礎と看護
- ・心電図モニター
の基礎と看護
- ・ストレスマネジ
メント
- ・1ヶ月フォロー
アップ研修

6月

- ・創傷ケア
- ・安全な輸血管
理
- ・エンゼルケア

7月

- ・看護倫理

9月

- ・人工呼吸器の
基礎と看護

10月

- ・6ヶ月フォロー
アップ研修
- ・シミュレー
ション研修

2月

- ・島嶼看護
- ・1年目フォロー
アップ研修



車椅子移乗



採 血



小児シミュレーション



人工呼吸器の基礎と看護 1



人工呼吸器の基礎と看護 2



成人シミュレーション

VII

みんなに支えてもらって2年目になりました!

外間 大希



県立北部病院

外科・脳神経外科病棟



私は現在、北部病院の外科・脳神経外科病棟に勤務して2年目になります。

コロナ禍の中で、十分な臨地実習を経験できないままの就職であったため、不安だらけのスタートとなりました。初めの頃は、「看護技術」「患者とのコミュニケーション」などわからないことが多く、毎日が新しいことばかりで学びの連続でした。院内研修や何より病棟の先輩・患者さんとその御家族に育ててもらい、少しずつ自信を持つてできることが増えてきました。

北部の方の暖かさや元気をもらいながら、日々看護のやりがいを感じています。

池田 光一



県立南部医療センター・こども医療センター

内科病棟



私は循環器内科、心臓血管外科、腎臓・リウマチ科の患者中心の成人病棟で働いており、重症度が高く日々の業務で忙しさを感じることもありますが、できることが少しずつ増え看護師として成長させてくれる病棟だと感じています。

日々看護実践を行う中で、術後気管切開を経験した患者さんから退院日に「お世話になりました、ありがとうございます」と温かな言葉を頂くことができました。そのときは患者さんの退院を自分の事のように嬉しく思い、仕事に対しすごくやりがいを感じる事ができました。

私の看護師人生はまだまだ始まったばかり、日々成長していけるよう今後も努力を続けていきたいと思っています。



松川 美羽



県立八重山病院

内科・結核・感染症病棟



私は、呼吸器内科・感染症病棟に勤務しています。新型コロナウイルスが流行する中、初めは慣れない防護服に不安や戸惑いも多くありました。しかし、先輩方の手厚い指導を受けて正しい感染対策を身に付け、日々看護の知識や技術を学んでいます。この病棟では腹膜透析導入で入院される方も多く、その指導にも力を入れています。

離島で生活する患者さんとその家族に寄り添いながら、離島ならではの看護の経験を積んでいます。

Voice Message 先輩たちの声

新人を支援するプリセプター・教育担当者の声



末吉 舞子

■ 県立宮古病院 看護師



小関 まこと

■ 県立中部病院 助産師



今年度、プリセプターとして新人看護師の指導に関わることになりました。年3回開催される院内プリセプター研修を受講しながら、自分自身も人材育成に関わるという責任を忘れず、プリセプティと共に成長する1年にしたいと思っています。

また、プリセプティが安心して明るく1年を過ごせる事を目標に、プリセプティをよく見て、よく声を聴き、声援を送り、必要な時は手を差し伸べたいと思います。

一緒に楽しく1年間を過ごします。

助産師は、女性の一生に関係する職業です。

県立病院では、正常な経過を辿る方だけでなく、身体的・精神的・社会的にハイリスクである方と関わる機会が多くあります。どのような背景がある方でも、地域で安心して育児を行えるよう多職種と連携しながら支援していくことは、自身の成長につながると同時にやりがいを感じます。もちろん葛藤もありますが、頼れる仲間も多くいます。

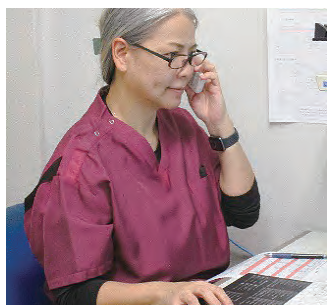
女性の応援団として、一緒に働いてみませんか。

専門看護師・認定看護師・特定行為研修終了看護師の声



仲間 悦子

■ 県立北部病院
緩和ケア認定看護師



齋藤 直毅

■ 県立精和病院
精神看護専門看護師



私は現在、緩和ケア認定看護師として病気によって生じるあらゆる苦しみや問題に対応し、患者さんや御家族がより良い人生を歩む事ができるよう支援を行っています。また、医師や看護師、MSW等と協力し勉強会やワークショップ等を開催し、アドバンスケアプランニング（人生会議）の普及に努めています。課題はたくさんありますが、この活動にもこれまでの経験が大きく役立っています。

県立病院の魅力は、沖縄本島だけでなく、離島も含め勤務先が多様であるため、様々な経験と知識が得られることです。各勤務先で出会った患者さんや多職種の方々との繋がりが自分自身の大きな力となり宝となっています。

私は専門看護師の資格取得後、医療チームと連携した精神的不利を抱える患者のケアや看護師・看護学生への教育活動を院内外で行っています。資格取得に必要な就学のため、病院にはスケジュールや業務内容の支援をいただきました。

離島を抱える沖縄県の特性上、離島での勤務も経験しました。離島ならではの、地域と一体になった精神看護を経験できたことは、現在の私の財産となっています。

このように、個別のニーズに応じたキャリア支援を受け、成長を続けることができる環境があることが県立病院の魅力だと感じています。

専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了看護師の声



朝川 恵利

■ 県立宮古病院
がん性疼痛看護認定
看護師



がん性疼痛看護認定看護師及び緩和ケア専従看護師として大切にしていることは、患者さまやご家族との対話です。その中から苦痛やニーズ、想いを引き出し調整役として院内、院外のリソースとの連携・協働を図り、病気になっても『その人らしく生きる』を支える緩和ケアが円滑に切れ目なく提供されるよう組織横断的に活動しています。

沖縄県立病院は定期的な異動で、各施設の所属する専門・認定看護師をはじめ多職種と顔のみえる関係が図られ、転院しても継続した患者支援が行えるのは県立病院の強みです。



富山 辰徳

■ 県立八重山病院
感染管理認定看護師



当院は、八重山地域唯一の中核病院です。私の主な役割は、感染対策チームの一員として、入院患者さんや職員をあらゆる感染症から守り、それを抜けないことです。そのためには、多職種と連携し感染対策システムの構築、職員・患者教育、院内アウトブレイク時には、素早く対応を行う事です。

院内に限らず、地域施設で発生した感染症アウトブレイク時には対策支援の役割も担っています。感染対策はチームだけではできません。離島の限られた資源ではありますが、地域と連携し、日々安全な医療が提供できるように活動しています。



前森 里美

■ 県立中部病院
がん化学療法看護認定看護師



私は県立病院に在籍し20年以上になります。入職当初、県立病院の患者さんの重症度の高さに圧倒されっぱなしでした。その状況で活躍する先輩看護師に憧れを抱き、多くの学びと一緒に働いている安心感があったのを覚えています。

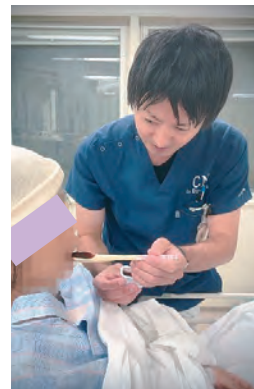
現在、私はがん化学療法看護認定看護師として活動し、更に、医療と看護の側面から患者支援を行う「特定看護師」として学びを深めています。

これからも患者に寄り添った看護を提供すると同時に、看護師のスキルアップ支援と働く安心感を提供できる特定看護師として活躍していきたいと思っています。



高江洲 義朗

■ 県立南部医療センター・
こども医療センター
摂食嚥下障害看護認定
看護師 / 特定行為研修修了



重症患者様が人工呼吸器から離脱し、気管チューブ挿入の苦痛から解放されても、なお、抜管後に生じる嚥下障害で苦しむ患者様がいらっしゃいます。

私は、摂食嚥下障害看護認定看護師、また特定行為実践看護師として、患者様の人工呼吸器からの離脱にむけた人工呼吸器設定変更や、抜管後の嚥下障害患者様に対して早期に介入を行いながら、患者様の「飲みたい」や「食べたい」に応えられるよう、スタッフと共に取り組んでいます。

皆さんも私たちと一緒に県立病院で働きませんか？



山川 貴史

■ 県立南部医療センター・こども医療センター
集中ケア認定看護師 / 特定行為研修修了



「急性期の看護がしたい」私が県立病院に入職した動機です。小児科から始まり、さまざまな診療科を経験していく中で、初心を忘れず自身のキャリアビジョンを持ち続けていました。今では認定看護師取得と特定行為研修を修了し、患者様の最善を目指して、日々看護実践に奮闘しています。

県立病院の魅力は、キャリア支援が充実していることです。今後、特定行為も広がり、さらなる医療・看護の質向上が期待されています。私たちと一緒に、県民のために急性期医療を担ってみませんか？

看護師経験10年以上の先輩の声



仲松 美佳江

■ 県立精和病院
外来・訪問看護室 副看護師長



大山 亮子

■ 県立中部病院
婦人科・内科混合病棟 副看護師長



私は看護師として県立病院に入職し、21年目になります。これまで働き続けてこられたのは、充実した教育体制とお互いに支えあいながら共にキャリアアップしていける仲間がいるからだと思っています。

また、私は現在3人の子育て中です。産休・育休取得後も周りにサポートしてもらい、安心して復職する事ができました。

県立病院の魅力は、離島勤務やいろいろな診療科を経験しながら働き続けられることだと思います。

私は県立病院へ入職し、24年目になります。教育担当に携わることが多く、新人看護師を含めたスタッフ教育への課題にも取り組んできました。看護師としての責任の重さ、なにより看護師として働く楽しさを伝え、成長していくためにはどうしたら良いのかを日々考えています。

多忙な業務の中でも倫理的で質の高い看護の提供を目指すため、患者中心の医療を提供することを自身の看護観の軸としています。充実した教育体制とお互いが成長し合える環境があるのは、県立病院の魅力だと思います。みなさんもここで一緒に働いてみませんか？

先輩助産師の声



下地 めぐみ

■ 県立宮古病院 アドバンス助産師



宮古病院は、島内唯一の周産期医療施設です。私の働いている病棟は産婦人科、小児科、成人、GCU、NICUの混合病棟で、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い患者さんに対応しています。

また、小児科外来、産婦人科外来、助産師外来も対応している為、入院前・入院中・退院後を通して地域と連携し宮古島の周産期看護に携わることができます。

アドバンス助産師として、赤ちゃんの笑顔、お母さんの笑顔とともに幅広く活動できることが魅力です。



与那覇 祥子

■ 県立北部病院 アドバンス助産師



私は、助産師の夢を叶えるため、県外で進学・就職し、沖縄に戻ってからは県立病院で助産師としての力を磨き、更なるキャリアアップを目指し、アドバンス助産師の資格を取得しました。現在、勤務している北部病院のある名護市は、私の生まれ育った地です。地元やんばるの子育て文化を大切にしながら、アドバンス助産師の資格を活かした、より専門的な視点で妊産婦や新生児のケアを行っています。

アットホームな環境で多職種との連携も充実しており、患者さんをどう地域へ繋ぐか皆で考え、看護できる面白さと地元で働く意味を感じています。県立病院は、自分次第でどんどんキャリアアップできる教育環境があります。みなさんも私たちと一緒に働いてみませんか？

離島診療所で活躍する先輩看護師たちの声



玉城 利香子

■ 県立南部医療センター・
こども医療センター
附属粟国診療所



離島診療所看護師には、薬剤や診療材料の管理、調剤業務などに加え、地域や行政と一緒に、住民の健康の維持、増進に努める役割があります。また往診や地域見回り等では住民の生活環境や家族背景などを把握し、転倒予防や熱中症予防、介護サービスの必要性など、適切なケアが早期に介入できる様、地域や行政と密に情報を共有しています。

自然いっぱいの離島で、住民の皆さんと時には家族のような距離感で地域医療・看護ができる事とても魅力を感じています。診療所看護に携わる事は、私の看護師生活の中で、とても貴重な時間となっています。

ぜひ、一緒に離島診療所看護師を頑張りましょう。



美底 恭子

■ 県立八重山病院
附属波照間診療所



私は、県外の救急センターで勤務していた頃、離島医療に興味を持ち「行くなら遠くへ」と波照間診療所に赴任してきました。小さな島での生活は皆顔見知りで、家族背景や日常生活なども暮らしの中で知ることができ、看護実践はやりやすく楽しいです。

また、保健師や介護事業所職員、地域の方々と協働でお看取りや認知症ケアなど様々な看護実践ができます。診療所の看護師は一人ですが、島の専門職や親病院の支えもあり、共に働く他の診療所看護師とはグループLINEでつながり、相談があれば互いに教え合います。

島嶼看護に興味を持っている方、島の方々が看護師を育ててくれます。決して一人ではないので安心して働けますよ。

離島診療所看護師を支える離島医療支援看護師(しまナース)たち



島袋 貴史

■ 離島医療支援看護師



宇久田 七恵

■ 離島医療支援看護師



宮城 幸枝

■ 離島医療支援看護師

離島医療支援看護師は、通称「しまナース」と呼ばれ、平成25年より沖縄振興特別交付金を活用した「代替看護師派遣事業」を実施する看護師です。現在3名のしまナースが病院事業局に配属され、県立病院附属離島診療所(16カ所)の看護師を支える役割を担っています。

しまナースは、診療所看護師が研修参加や休暇などで診療所を不在にする際の代看業務、診療所業務で困った事への助言、島の魅力発信のための島嶼看護体験研修の企画・運営などを担っています。短期間の代替派遣ですが、島の特性や文化、人々の価値観を大事に島の生活に触れながら看護の提供ができることに非常にやりがいを感じています。

県立病院では高度急性期から離島医療、プライマリ・ケアに至るまで幅広く看護を学ぶことができます。「様々な看護の経験をしてみたい」「離島の看護を経験してみたい。」という方、県立病院では患者に寄り添う看護を目指し、やりがいを持って働ける職場だと思います。ぜひ一緒に働きましょう。

1 正職員の種類について

正職員は、令和2年4月1日から**広域異動職員**と**地域異動職員**の2種類となり、いずれかの職種で応募することになります。

(1) 広域異動職員とは

沖縄県全域にあるすべての県立病院等に勤務する正規職員

(2) 地域異動職員とは

特定の地域内の県立病院等で勤務する正規職員

○中部地域

中部病院、津堅診療所

○南部地域

南部医療センター・こども医療センター、久高診療所、渡嘉敷診療所、座間味診療所、阿嘉診療所、渡名喜診療所、粟国診療所、北大東診療所、南大東診療所、精和病院

○宮古地域

宮古病院、多良間診療所

○八重山地区

八重山病院、大原診療所、西表西部診療所、小浜診療所、波照間診療所

よくある質問

Q 地域異動職員と広域異動職員の違いは？

- ・人事異動の範囲が違います。
- ・地域異動職員の昇任は主任級までです。

Q どういう人が地域異動職員を希望しているの？

- ・生まれ育った地域のために仕事をしたい方、家族や自身の生活スタイルを変えたくない等の理由で地域異動職員を希望しています。

Q 広域異動職員と地域異動職員で業務に違いはあるの？

- ・広域異動職員も地域異動職員も、職務内容に応じて定められた事務分担に基づき業務をします。
主任級の業務の内容、範囲、権限、責任の度合い等に違いはありません。

Q 地域異動職員から広域異動職員へ変更することはできるの？

- ・地域異動職員から広域異動職員へ変更する場合は、採用試験を受け直す事になります。広域異動職員から地域異動職員へ変更する場合も同様です。

※ 広域異動職員と地域異動職員についてのお問い合わせ先

《沖縄県病院事業局 病院事業総務課 人事班 (098-866-2832)》

2 正職員の待遇について

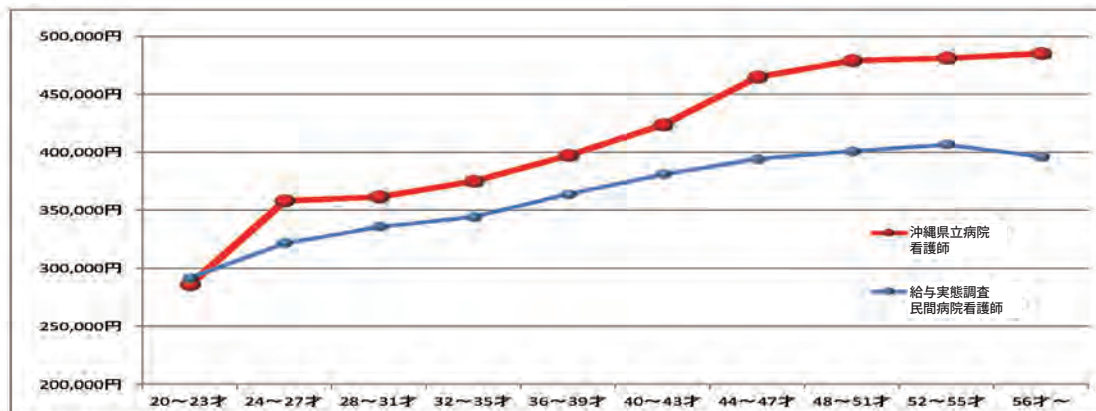
	広域異動職員	地域異動職員				
身分	正規職員	正規職員				
任期	定年まで	定年まで				
勤務地	全ての県立病院等	特定の勤務地内の県立病院等				
職責	病院事業全体の課題に対処する能力が求められる	特定の勤務地内における業務課題を解決する能力が求められる				
業務	任用される職に応じた業務に従事する	任用される職に応じた業務に従事する				
昇任	制限なし	一定の制限あり（主任まで）				
人事異動	沖縄県全域	特定の勤務地域内				
勤務時間	休憩時間を除き、4週間を超えない期間につき、1週間当たり38時間45分（交替制勤務の場合）					
休暇制度	年次有給休暇、慶弔休暇、妊娠、出産、子育て、介護に関する休暇等があります					
給与	4大卒	給料	213,200円	4大卒	給料	213,200円
		調整額	4,700円		調整額	4,700円
	短大3卒	給料	204,900円	短大3卒	給料	204,900円
		調整額	4,700円		調整額	4,700円
	短大2卒	給料	197,000円	短大2卒	給料	197,000円
		調整額	4,700円		調整額	4,700円

※「給与」欄は、各学歴卒業後すぐに採用された場合の給料等です。

※「調整額」は、病院の配置部署によって異なります。

主な手当	賞与（年2回）：年間4.4月分、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間看護等手当ほか ※ 離島勤務の際には「特地手当・準特地手当」が支給されます。
主な休暇制度	年次休暇（年20日）、公傷休暇、産前・産後休暇、育児休暇、慶弔休暇、病気休暇（90日まで）、夏季休暇（5日）、旧盆休暇、子の看護休暇ほか

沖縄県立病院看護師と民間病院看護師の年代別給与月額比較



※ 沖縄県立病院看護師給与月額は令和4年7月データ

※ 民間病院看護師等給与月額は平成31年「職種別民間給与実態調査の結果」表7職種別、年齢階層別平均支給額（人事委員会）より作成。

3 勤務体制について

- 4週8休（休日勤務もあります）
- 3交替勤務または変則2交替勤務

夜勤時間 例) 3交替勤務

- ・ 深夜勤 00:00 ~ 08:30
- ・ 日 勤 08:00 ~ 16:30
- ・ 準夜勤 16:00 ~ 00:30

※日勤・準夜勤においては、時差勤務あり

院内保育所（2箇所）
 ・ 中部病院
 ・ 南部医療センター・
 こども医療センター

看護師寮（2箇所）
 ・ 宮古病院
 ・ 八重山病院

看護師寮はバス・トイレ付き
 1LDK

4 会計年度任用職員の待遇について

会計年度任用職員とは、一会計年度を超えない範囲内で置かれる非常勤の職員（従来では嘱託職員）を指します。

	フルタイム	パートタイム
免 許	看護師免許	看護師免許
勤務日数	休憩時間を除き、1週間38時間45分	休憩時間を除き、4週を超えない期間につき、1週間38時間45分に満たない範囲
有給休暇	有り	有り
手 当	通勤手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当、期末手当等	通勤手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当、期末手当等
夜間看護等手当	1回につき ① 深夜勤の全部 7,300円 ② 4時間以上7時間未満 3,550円 ③ 2時間以上4時間未満 3,100円 等	
基本給	157,700円～200,400円	時給 1,009円～1,282円

- ※ 給与等は、勤続年数や経験年数により異なります。
- ※ 会計年度任用職員に関しては、ご希望の勤務地・勤務時間等ご相談に応じます。
- ※ 採用に関するご相談は、希望する病院の看護部まで直接お問い合わせください。



IX

県立病院で働こう!!

1 募集・採用スケジュールについて

(例年の募集・採用スケジュール)

- ◎ 5月中旬 応募受付開始
- 5月末頃 受付締切
- ◎ 7月中旬 採用試験（沖縄県内にて実施）
- ◎ 8月中旬 選考結果通知

2 応募・選考方法について

- ◆ 沖縄県病院事業局 病院事業総務課 WEB サイトより「募集要項」をダウンロードし、履歴書等の必要書類を添えて応募してください。
 - ※ 沖縄県庁 4階 沖縄県病院事業局 病院事業総務課でも配布しております。
- ◆ 選考方法は、**作文試験** と **面接試験** になります。

お問い合わせはこちら

《沖縄県病院事業局 病院事業総務課》

☎ 900-8570

沖縄県那覇市泉崎 1丁目 2番 2号（南側4階）

☎ 098-866-2832 FAX: 098-866-2837

《沖縄県病院事業局ホームページ》

<https://byoinjigyokuyoku.pref.okinawa.jp/>



《沖縄県病院事業局 病院事業企画課 人材確保・育成班 看護担当》

☎ 098-866-2123

e-mail: kangoshi@pref.okinawa.lg.jp

令和5年11月発行

沖縄の医療のために 働くあなたのために



沖縄県立病院
WEBサイト